

Si-R G120 V20.08 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	内容
1	dnsproxy処理改善	リスト検索処理改善によるブレイクアウト通信性能向上
2	NXConciergeエージェント機能	管理ポータルへの接続動作の改善 1)管理ポータル側メンテナンス時のログイン不可からの復旧を早期に実施するための構成定義設定コマンドを追加しました。 2)ファームウェア更新後の初回起動時に、SNMP応答メッセージから不要な文字列を削除する。
3	トラフィック監視機能	・トラフィック量の集計方法改善 ・フェールセーフ対応追加

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.06	VIDが大きな値のVLANを定義し、show interface summary を実行すると(down code [d4000001:00000000])でシステムダウンする
2	V20.06	温度センサーのI2C異常(0x850c0004)が検出される場合がある
3	V20.06	csg listコマンドの定義番号に入力範囲外の値を設定してもエラーとならない
4	V20.06	csg list endpointlistコマンド、proxydns domain endpointlistコマンドのエンドポイントID に範囲外の値が指定できてしまう
5	V20.06	Nxconciergeと連携して実現するトラフィック監視の対象にエンドポイントリストのips情報が重複して登録されてしまうことがある
6	V20.06	proxydns domainコマンドの設定順序によりエンドポイントリストの名前解決しても動的アドレスが登録されない場合がある
7	V20.06	名前解決済みのドメインに対する通信がブレイクアウトしなくなる場合がある
8	V20.06	proxydnsの設定にdomainlistの設定がない場合、endpointlistのドメインがブレイクアウト対象とならないことがある
9	V20.06	CSG機能利用時、メモリ枯渇が発生し装置が再起動する可能性がある
10	V20.06	csg listコマンドで同一定義番号に複数の設定ができてしまう
11	V20.06	電波状態監視有効時にpseudo-ether定義の動的定義反映を行うと、装置が再起動することがある
12	V20.06	運用中にdown code [d4000001:00000000]で装置再起動する場合がある
13	V20.06	NXConciergeサービス運用中に、管理ポータルからの指示を受け付けられなくなる場合がある
14	V20.06	マルチログインした状態で同時にtcppingコマンドを実行すると、出力結果が不定となる場合がある

15	V20.06	マルチNAT通信でプライベート側の端末に復路の通信が正しく返らない(通信不可になる)場合がある
16	V20.06	構成定義情報2の復元を行うと、構成定義情報の先頭行が格納されない(定義反映されない)ことがある